

委員長 三觜由見子	副会長 塚田尚子	研究部会長 西江洋子	副会長 内藤訓子	計 長 仲井博幸	副会長 青木博幸	書記 宮國麻美	広報委員長 菊地雅子	北川佳世子	監事 小原美江	副委員長 吉田幸恵	研究部会長 桑澤のり子	育成部会長 井口雅美	企画委員長 松本眞理子	有本由美子	徳江紀子	霜島麻紀	阿部みゆき	渡邊春恵	山岸恭子	佐藤千晴	佐藤眞理子	佐藤夏美	廣岡紀子	後藤美江	吉見美江	折原美知子	畑麻衣子	長谷部由起	坂間志恵	佐藤眞由美	山口史織	根津智乃	湯山智乃	村谷孝行	澁谷晴子	角田吉弘	青木公雄	甘粕勇二	山口政哉	岩田和美
地区子ども会連絡会代表	青少年指導員	青少年指導員	青少年指導員	育成経験者	育成経験者	自治会ブロック(五町)	自治会ブロック(新屋敷)	地区子ども会連絡会・主任児童委員	自治会ブロック(東)	自治会ブロック(西)	地区子ども会連絡会・片瀬子ども会運営委員長	地区子ども会連絡会・自治会ブロック(西)	地区子ども会連絡会・自治会ブロック(東)	片瀬小学校PTA代表	片瀬中学校PTA本部	片瀬小学校PTA地区委員	片瀬中学校PTA校外委員	自治会ブロック(片瀬山)	片瀬中学校校長	片瀬小学校校長	地区社会福祉協議会会長	地区民生委員児童委員協議会会長	地区防犯協会会長	片瀬・市民スポーツの会会長	片瀬地区青少年支援フォーラム会長															

第34号

潮の子・かたせ

2023年(令和5年)3月25日発行 片瀬地区青少年育成協会

事務局：片瀬市民センター TEL0466-27-2711



藤沢市立片瀬中学校
教頭 池田 裕

チーム片瀬

昨年4月に片瀬中へ着任し2年目になりますが、私は生徒たちがのびのびと学校生活を送っている姿を見て、毎日とても清々しい気持ちにさせてもらっています。学校は、全ての生徒にとって“安全・安心な居場所”でなければなりません。生徒たちが学校で充実した日々を過ごせるのは、教職員の力だけではなく、保護者の方々、地域の方々からしっかり支えられ、見守っていただいているお陰です。心より感謝を申し上げます。

さて、おとし5月にそれまで片瀬小に展示されていた法隆寺五重塔の木製模型が、片瀬中に移設されました。どっしりとしたとても存在感のある五重塔です。今後は、片瀬中で片瀬の子どもたちを見守り続けてくれることでしょう。

そして昨年10月には、本校校舎の壁面に横断幕を設置しました。正門からもはっきりと見える大きさで『山のように高い志をもち 海のように広い心をもつ』と書いてあります。これは、生徒会が中心となり全校生徒の意見を持ち寄って決めたもので、長引くコロナ禍で苦しむ多くの皆さんへの「応援メッセージ」という思いも込められています。

また、毎年、片瀬山防災会や自治会の皆様のご協力のもと防災学習を行っています。単に防災の知識を学ぶだけではなく、生徒一人ひとりが災害時にそれぞれの役割を果たせるような意識付けをしていただいています。

このように、皆様からたくさんの愛情を受けて成長していく片瀬の子どもたちは、中学校の3年間を通して地域の一員としての自覚も芽生え始めます。さらに数年後には、片瀬地区をしっかり支え、見守り、大いに盛り上げていく存在となっていることを心から願っています。まさに、“チーム片瀬”です!!

私たちこんな活動しています!!



編集後記

会長 三觜由見子

今年度は、子どもたちが参加する事業が新型コロナウイルス感染症や天候の影響を受け軒並み中止となり、残念ながら実施することができませんでした。三年ぶりに片瀬公民館で開催された「片瀬地区ふれあいまつり」では、昨年度の活動も含め展示して、地域の方々に子どもたちの様子をお見せすることができました。子どもたちの育成は長い目で見てほしいです。そしてきっと、それが嬉しかったと子どもたちは思ってくれます。子どもたちの笑顔が見られる日がきます。周りにたくさんの支えてくれる片瀬の大人がいることを信じてほしいです。

- ◇ 年間事業報告 ◇
- 4月 総会
 - 7月 情報交換会 潮の子フォーラム
 - 7月 デーキャンプ(新型コロナウイルス感染症拡大により中止)
 - 7・8月 夏期江の島周辺夜間パトロール
 - 10月 片瀬地区ふれあいまつりに参加
 - 11月 施設見学研修
 - 11月 おたのしみ球技大会(悪天候により中止)
 - 12月 合同パトロール(青少協・防犯・生環協)
 - 2月 何でもトーク(内部研修)
 - 3月 子育て講演会(片瀬学園・小中PTA・公民館との共催)
 - 3月 広報誌第34号「潮の子・かたせ」発行

- * 他団体との協力 ***
- ・片瀬地区子ども会連絡会
 - ・片瀬地区青少年支援フォーラム
 - ：地域パトロール・青色回転灯パトロール
 - ・片瀬・江の島まちづくり協議会：かたせ・ここに広場
 - ・片瀬地区防犯協会：安全・安心ステーション
 - ・片瀬地区社会福祉協議会
 - ・片瀬地区民生委員児童委員協議会
 - ・片瀬地区生活環境協議会
 - ・東京都片瀬学園
- 🌸藤沢市表彰条例に基づく表彰(敬称略)
- 塚田尚子 西江洋子 有本由美子 青木博幸 菊地雅子
宮國麻美(青少年指導員) 松本眞理子(公民館評議員)
- 🌸藤沢市教育文化貢献者感謝会表彰(敬称略)
- 内藤恵(青少年指導員)



～潮の子フォーラム～

7月8日(金)午後2時～
片瀬市民センター 2階ホール
講師 片瀬小学校教頭 森谷雅子氏
参加者 24名



今回で30回目を迎えました『潮の子フォーラム』ですが、片瀬小学校の森谷教頭先生を講師にお迎えして、歌とピアノを交えたお話を伺いました。先生がお話の途中で弾いてくださるピアノの演奏や歌で今までになく、音楽をととても身近に感じ、癒しの時間を過ごさせて頂きました。また、音楽の素晴らしさを改めて実感させて頂きました。



～夏期江の島周辺夜間パトロール～

7月23日(土)・8月6日(土)午後9時～10時
①片瀬東浜コース ②片瀬西浜コース
③小田急線片瀬江ノ島駅周辺コース
計2回実施 参加者延べ87名



青少協と市「犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議」の共催で、夜の海岸での青少年見守りパトロールを行いました。昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数と参加人数を縮小して2回実施しました。

7月23日には鈴木市長参加のもとで出発式を行い、海岸・駅周辺などの3コースに分かれ、西浜・東浜の両海水浴場組合、県・市・警察との協力のもと、地域の小・中学校、多くの地域団体、個人の方々の参加で行ないました。

参加者からは、「夜の海辺の様子が分かって良かった」、「花火で遊んでいる人には海の家の方が声をかけていた」、「静かだった」などの感想がありました。



～施設見学研修～

11月22日(火)
川崎市子ども夢パーク
認定NPO法人フリースペースたまりは理事長
講師 西野博之氏
参加者 18名



子どもたちが自分らしく在るための場所であり自由に遊び様々な人と出会う場所である「川崎市子ども夢パーク」の開設から携われ、所長を経て現在総合アドバイザーである西野博之氏のお話を聴きました。生き辛さを抱える子どもたちのサポートの重要性を改めて感じました。帰りには川崎大師に寄り、新型コロナウイルス感染症の終息と皆様のご健勝をお祈りしてまいりました。



地域の子どもは地域が協力して育てていこう

～合同パトロール～

12月2日(金)午後3時～
片瀬地区一円
参加者 46名



防犯協会、生活環境協議会、青少年育成協力会の三者合同でパトロールを実施しました。

7つのコースに分かれ、通学路を中心に地域の安全確保を目的に危険箇所などを見て回り、終了後の意見交換で指摘された危険箇所などは、改善を図るため、市へ報告しました。

1時間程度のパトロールでしたが、下校途中や放課後の子どもたちの様子を見ることもでき、有意義な時間となりました。



～何でもトーク(内部研修)～

2月14日(火)午前10時～11時
片瀬市民センター 2階ホール
参加者 24名



長いコロナ禍で出来なかったグループトークを、青少協のメンバーのみ各班6人の少人数4班で行いました。日頃の子育てに関する悩みや、コロナ禍での子どもたちの学校生活などについて、世代の違うメンバー同士で話しました。短い時間でしたが、各グループからは笑い声が絶えず、改めて顔を合わせて話し合うことの大切さを実感いたしました。

かたせ・にここ広場



乳幼児と保護者の交流スペース

青少協もスタッフとして協力しています

水曜日(第3水曜除く)・木曜日(第1木曜除く)に開所しています

☆水曜日 10時～12時 片瀬市民センター 第1談話室

☆木曜日 10時～12時 片瀬地区ボランティアセンター
(子育て相談が出来ます)

親子で楽しくお過ごし下さい♪♪



～子育て講演会～

3月3日(金)午前10時30分～
片瀬市民センター 2階ホール
管理栄養士・公認スポーツ栄養士(シダックス株式会社所属)
講師 中村みどり氏
参加者 30名



「将来につながる成長期の食」について学ぼう

成長期の子ども及び、私たち自身の食について有意義なお話をお聴きすることができました。

まず、「食べる力をつけることは人生にとって大切であり、食について考えることは食べ盛りの子どものみならず、一生を通して大変大事です。」という言葉に食の大切さを痛感いたしました。肩肘を張らず、工夫をしながら、家族で食材に興味を持って楽しむことが大事であるということも学びました。

講話中、昨日の食事を振り返る時間などもあり、改めて普段の食生活で自分たちに足りない栄養素が何かなどを気付かされた次第です。また、食事の時間はコミュニケーションの大切な場でもあるなど、興味深いお話が続き、「楽しく頑張る過ぎないで!」という先生の言葉もありがたく感じました。将来のある子どもたちが健康でいられる様に食の大切さを正しく、楽しく伝えることの大切さを深く考えることが出来た今年のひなまつりの日でした。